



幸手市議会議員 本田ようこ

〒340-0164
幸手市香日向3-10-16
TEL 0480-43-8988
FAX 0480-77-4347
E-mail: mirai@honda-yoko.com
http://www.honda-yoko.com



幸せの手

よりの一般質問報告

— 平成27年第1回幸手市議会 —

幸手市の防災のよりどころに 生活者の声は届きますか？

幸手市の災害対策の基本となる幸手市地域防災計画は、幸手市防災会議に諮り、防災のために処理すべき業務などを具体的に定めています。

現在、34名の委員の中で女性委員の枠は1名です。

（充て職として入っている保健福祉部長や幸手保健所所長は、今回は女性ですが、必ず女性とは限らない）

■幸手市地域防災計画

幸手市における災害に対処するための基本的かつ総合的な計画として策定するものであり、市の防災活動の指針としての性格を有するとともに、各種災害が複合して発生した場合に、その状況に応じて有機的な運用を図るものとする。

■幸手市防災会議

幸手市地域防災計画を作成し、その実施を推進したり、市長の諮問に応じて市の地域に係る防災に関する重要事項を審議するなどの事務をつかさどる。

■私は思う

内閣府男女共同参画局からの指針には、女性委員の割合を高めるよう掲げられています。

幸手の普段の状況を一番知っているのは、生活者、女性です。そして、女性の就くことの多い保健師、助産師、看護師、保育士等といった災害対応に深く係る専門的職業に従事する女性の声も必要です。今や防災に女性には欠かせません。早急に、女性委員の登用を要望致しました。



活かされるのか？ 災害ボランティア

幸手市災害ボランティアは、三つのボランティアに分類される。

① センタースタッフ補助

災害ボランティアセンターの運営補助を担うボランティア

② 一般ボランティア

労力等を提供するボランティア

③ 技能ボランティア

資格や職能を有するボランティア

現在登録人数は10名で、保険は自分持ちです。

■私は思う

ボランティアは「自己完結」が基本と行政は言う。しかし、市民が市のために協力してくださるボランティアの整備はまだまだのようだ。また、年一回の防災訓練で実際に動けるのか。定期的な研修と訓練は不可欠で、社会福祉協議会は災害ボランティアセンター運営で精一杯なのでは。

携帯・スマホから子どもたちを守れ！

前回12月議会の私の一般質問より

☆こどもの携帯・スマホの所有率

小学校↓約4割
中学校↓約7割

☆問題点

生活習慣の乱れによる学力低下など。
有害サイトやラインなどによる友達関係の固定化。

☆平成26年度全国学力学習調査では、携帯電話やスマートフォンを長時間使用しているこどもの正答率が低いという結果が出た。

そこで、早急に市として、

幸手市スマホ携帯インターネットルール作成委員会を立ち上げる。（メンバーは小中学校校長・生徒指導主任・PTA連合会・青少年育成推進員・市内各中学校生徒それぞれの代表）
2回の会議を開催し、年度末までにリーフレットを作成し、生徒・保護者へ配布。予定新年度にそれを使い啓発をする。教育委員会の素早い対応に驚き感謝いたします。

本田ようこの1期4年の取り組み

- ★水害も考え災害時の備蓄保管場所を高い所へ移動する
- ★放射線測定器を小中学校に配置と市民への貸出実現 (写真1)
- ★人間ドックの一部助成の実現(国保)
- ★教育委員会定例会議事録の公開(市ホームページ)
- ★コミュニティセンターの修繕 (写真2)
- ★統廃合後の香日向小学校跡地利用に対する市民会議の設置・住民説明会実施
- ★各中学校へ、さわやか相談員・ふれあい相談員の配置実現
- ★市役所の夜間の有人化実現(27年4月から実施)
- ★2学期制から3学期制への移行実現
- ★避難場所やAEDの設置場所の地図表示の実現(市ホームページ) (写真3)
- ★市営住宅の環境整備(草刈り)
- ★千塚西公園内の環境整備(自販機移動) (写真4)
- ★夜に使えるAEDの設置場所に対する提案(検討中)

等



(写真1)



(写真2)



(写真3)



(写真4)

これらは本田ようこの一般質問から成果や前進となった主なものですが、実現には、他の議員・職員・そしてみなさまのご支援ご協力がありました。ありがとうございました。

そして、次のステージの目指すテーマは

「安心なまちづくり」です。

- ☆高齢者にも心強い安心なまちづくり
- ☆防災体制の確立で安心なまちづくり
- ☆子どもを守り育む安心なまちづくり

更に皆様と一緒に、実現を目指してまいります!